

# 高金利国際機関債ファンド (毎月決算型)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2008年12月10日設定）	
運用方針	世界の国際機関債等へ投資をすることにより、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行います。	
主要運用対象	高金利国際機関債ファンド（毎月決算型）	新興国通貨建国際機関債マザーファンドおよび豪ドル債マザーファンドを主要投資対象とします。
	新興国通貨建国際機関債マザーファンド	相対的に金利の高い新興国通貨建で信用力の高い国際機関債を主要投資対象とします。
	豪ドル債マザーファンド	豪ドル建国際機関債、ソブリン債（国債、政府機関債等）および豪ドル建地方債を主要投資対象とします。
組入制限	高金利国際機関債ファンド（毎月決算型）	株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。また、外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	新興国通貨建国際機関債マザーファンド	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
	豪ドル債マザーファンド	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎月24日（決算日が休日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配対象額の範囲は、利子・配当収入と売買益（評価益を含みません。）等の全額とし、基準価額水準等を勘案して分配します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

## 運用報告書（全体版）

第184期（決算日	2024年6月24日）
第185期（決算日	2024年7月24日）
第186期（決算日	2024年8月26日）
第187期（決算日	2024年9月24日）
第188期（決算日	2024年10月24日）
第189期（決算日	2024年11月25日）

受益者のみなさまへ

平素は「高金利国際機関債ファンド（毎月決算型）」にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当ファンドは、第184期から第189期までの決算を行いましたので、当期間の運用状況につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

MYAM 明治安田アセットマネジメント株式会社

東京都千代田区大手町二丁目3番2号

ホームページ <https://www.myam.co.jp/>

〈運用報告書のお問い合わせ先〉  
サポートデスク 0120-565787  
(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

## ◎最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			参考指数	債組比	券入率	純資産額
		(分配落)	税込 配分	み 入金				
		円	円	%		%	%	百万円
第28作成期	(第160期) 2022年 6月24日	4,104	15	0.4	287.53	2.3	93.4	1,159
	(第161期) 2022年 7月25日	4,021	15	△1.7	283.08	△1.5	93.0	1,098
	(第162期) 2022年 8月24日	4,139	15	3.3	289.44	2.2	93.8	1,123
	(第163期) 2022年 9月26日	4,216	15	2.2	293.93	1.6	93.1	1,110
	(第164期) 2022年10月24日	4,392	15	4.5	297.71	1.3	93.5	1,151
	(第165期) 2022年11月24日	4,249	15	△2.9	295.94	△0.6	93.6	1,103
第29作成期	(第166期) 2022年12月26日	4,090	15	△3.4	291.74	△1.4	92.7	1,055
	(第167期) 2023年 1月24日	4,105	15	0.7	297.81	2.1	93.0	1,052
	(第168期) 2023年 2月24日	4,192	15	2.5	300.01	0.7	93.4	1,072
	(第169期) 2023年 3月24日	4,048	15	△3.1	297.71	△0.8	94.7	1,020
	(第170期) 2023年 4月24日	4,172	15	3.4	310.40	4.3	94.1	1,043
	(第171期) 2023年 5月24日	4,240	15	2.0	318.52	2.6	93.6	1,057
第30作成期	(第172期) 2023年 6月26日	4,415	15	4.5	338.89	6.4	92.9	1,077
	(第173期) 2023年 7月24日	4,382	15	△0.4	342.26	1.0	93.7	1,051
	(第174期) 2023年 8月24日	4,341	15	△0.6	341.55	△0.2	94.2	1,030
	(第175期) 2023年 9月25日	4,423	15	2.2	342.82	0.4	95.2	1,037
	(第176期) 2023年10月24日	4,298	15	△2.5	337.40	△1.6	94.7	975
	(第177期) 2023年11月24日	4,439	15	3.6	356.02	5.5	94.1	999
第31作成期	(第178期) 2023年12月25日	4,372	15	△1.2	348.80	△2.0	94.7	962
	(第179期) 2024年 1月24日	4,380	15	0.5	357.62	2.5	94.2	947
	(第180期) 2024年 2月26日	4,426	15	1.4	362.58	1.4	93.8	937
	(第181期) 2024年 3月25日	4,471	10	1.2	365.52	0.8	93.7	938
	(第182期) 2024年 4月24日	4,496	10	0.8	366.44	0.3	94.2	930
	(第183期) 2024年 5月24日	4,705	10	4.9	380.43	3.8	93.5	955
第32作成期	(第184期) 2024年 6月24日	4,673	10	△0.5	379.60	△0.2	93.9	939
	(第185期) 2024年 7月24日	4,543	10	△2.6	377.42	△0.6	93.2	897
	(第186期) 2024年 8月26日	4,260	10	△6.0	366.38	△2.9	92.6	836
	(第187期) 2024年 9月24日	4,290	10	0.9	369.99	1.0	93.6	838
	(第188期) 2024年10月24日	4,439	10	3.7	378.28	2.2	93.0	859
	(第189期) 2024年11月25日	4,462	10	0.7	377.77	△0.1	92.4	853

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしまして J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)を記載しております。

(注4) J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド)は J . P . Morgan Securities LLC (J P モルガン) が公表している、エマージング諸国の国債を中心とした債券市場の合成パフォーマンスを表す指数として広く認知されているものであり、J P モルガンの知的財産です。J P モルガンは当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)については基準価額との関連を考慮して前日の指数を採用しております。

## ◎ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		債 券 組 入 率
		円	騰 落 率 %		騰 落 率 %	
第184期	(期 首)2024年 5月24日	4,705	—	380.43	—	93.5
	5月末	4,686	△0.4	376.67	△1.0	94.2
	(期 末)2024年 6月24日	4,683	△0.5	379.60	△0.2	93.9
第185期	(期 首)2024年 6月24日	4,673	—	379.60	—	93.9
	6月末	4,665	△0.2	380.39	0.2	93.8
	(期 末)2024年 7月24日	4,553	△2.6	377.42	△0.6	93.2
第186期	(期 首)2024年 7月24日	4,543	—	377.42	—	93.2
	7月末	4,413	△2.9	373.38	△1.1	92.9
	(期 末)2024年 8月26日	4,270	△6.0	366.38	△2.9	92.6
第187期	(期 首)2024年 8月26日	4,260	—	366.38	—	92.6
	8月末	4,234	△0.6	364.09	△0.6	93.3
	(期 末)2024年 9月24日	4,300	0.9	369.99	1.0	93.6
第188期	(期 首)2024年 9月24日	4,290	—	369.99	—	93.6
	9月末	4,299	0.2	370.68	0.2	93.6
	(期 末)2024年10月24日	4,449	3.7	378.28	2.2	93.0
第189期	(期 首)2024年10月24日	4,439	—	378.28	—	93.0
	10月末	4,444	0.1	378.27	△0.0	93.7
	(期 末)2024年11月25日	4,472	0.7	377.77	△0.1	92.4

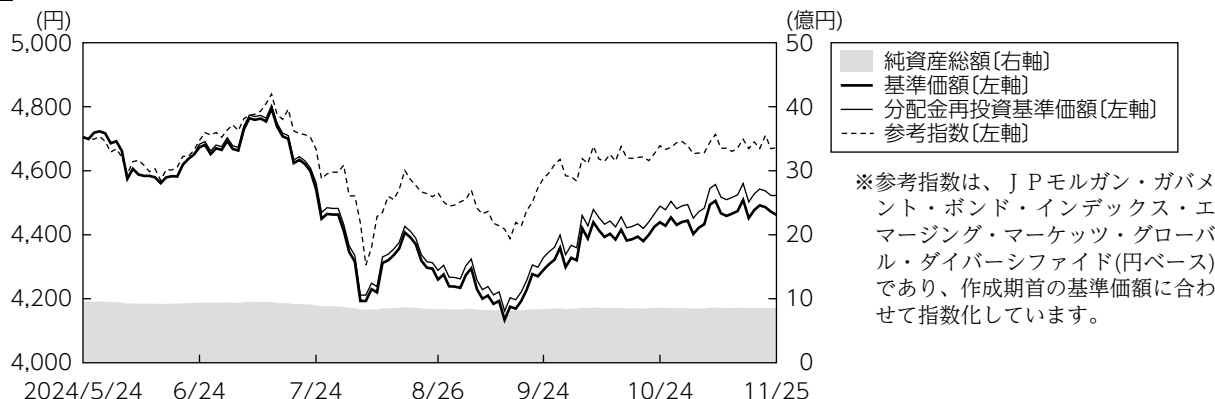
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしまして J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージェンシング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)を記載しております。

## 運用経過の説明

## ■ 基準価額等の推移



第184期首(2024年 5月24日)：4,705円

第189期末(2024年11月25日)：4,462円(既払分配金60円)

騰落率：△3.9%(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、分配金(税込み)を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

※騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ■ 基準価額の主な変動要因

ファンドの運用方針に従い、マザーファンドを通じて、世界の国際機関債等へ投資を行いました。投資対象資産の価格変動等による基準価額の変動要因は以下の通りとなりました。

## (上昇要因)

- ・組入債券の利息が積み上がったこと
- ・南アフリカランドが円に対して上昇したこと

## (下落要因)

- ・ブラジルレアル、メキシコペソ、豪ドルが円に対して下落したこと

## 【組入ファンドの作成対象期間における騰落率】

組入ファンド	騰落率
新興国通貨建国際機関債マザーファンド	△4.0%
豪ドル債マザーファンド	△1.2%

## 投資環境

### 債券市場

#### (ブラジル)

当作成期のブラジル長期金利は上昇（債券価格は下落）しました。インフレが落ち着く中で景気下支えのため中央銀行は政策金利を10.50%で据え置いていましたが、米国の利下げが先送りされたことなどからブラジルレアル安が進行してインフレ再燃懸念が高まったため9月会合以降、2回利上げを実施して政策金利を11.25%としました。こうした中、利上げの織り込みなどを受けてブラジル長期金利は上昇しました。

#### (メキシコ)

当作成期のメキシコ長期金利は上昇（債券価格は下落）しました。6月の大統領選挙で圧勝した新大統領が前政権の方針を引き継ぎ、場当たりのな経済運営をするとの見方から景気悪化懸念が強まりました。また、米国大統領選挙で共和党候補が関税引き上げを公約としたことで輸出への悪影響が懸念される中、中央銀行は政策金利を8月会合から3会合連続で政策金利を引き下げ10.25%として、景気の下支えを図りました。こうした中、メキシコ長期金利は財政悪化への警戒感などから当作成期後半に上昇しました。

#### (トルコ)

当作成期のトルコ長期金利は上昇（債券価格は下落）しました。強権的な大統領の下で中央銀行が独特の金融政策を実施する中、当作成期間中には、公式統計によるインフレ率が年率50%程度まで低下する中、中央銀行は政策金利を年率50%で据え置きました。一方で民間調査によるインフレ率は年率80%台となっていることから、今後の利上げが織り込まれる中、トルコ長期金利は上昇基調で推移しました。

#### (南アフリカ)

当作成期の南アフリカ長期金利は低下（債券価格は上昇）しました。金価格上昇を受けて通貨高となる中、インフレが鎮静化して年率4%を下回るなど中央銀行のインフレ目標レンジで推移しています。引き続き電力不足ではあるものの計画停電を回避できていることから経済成長率がプラスになるなど好循環となっている中、中央銀行は8.25%で据え置いてきた政策金利を9月会合と11月会合で引き下げ7.75%として景気の下支えを図っています。こうした中、南アフリカ長期金利は利下げの織り込みなどから低下傾向で推移しました。

#### (オーストラリア)

当作成期のオーストラリア長期金利は上昇（債券価格は下落）しました。コアインフレ率が高止まりしていることから、RBA（オーストラリア準備銀行）は当作成期間中に政策金利を4.35%で据え置きとする中、米国次期政権が財政拡張的な政策を実施するとの懸念から米国長期金利が当作成期末にかけて上昇し、オーストラリア長期金利も米国長期金利に連れて上昇しました。

**為替市場****(ブラジルレアル)**

当作成期のブラジルレアルは円に対して下落しました。ブラジル中央銀行はインフレの落ち着きから当作成期前半に政策金利を据え置きとしていましたが、左派政権による経済運営への懸念の強まりからブラジルレアルは軟調に推移しました。中央銀行はインフレの高まりや通貨防衛などを目的に9月会合以降は利上げに転じたことや大手格付機関が10月に同国国債を格上げしたことなどからブラジルレアルは下げ止まりましたが、当作成期を通すとブラジルレアルは対円で下落しました。

**(メキシコペソ)**

当作成期のメキシコペソは円に対して下落しました。中央銀行はインフレの低下などを受けて8月会合から3会合連続で政策金利を引き下げ10.25%としました。また、経済的に結びつきの強い隣国の米国大統領選挙にて共和党候補が関税引き上げを公約としていたことから対米輸出金額の大きい同国経済への影響が懸念されたほか、原油価格が軟調に推移したことなどから、メキシコペソは対円で下落しました。

**(トルコリラ)**

当作成期のトルコリラは円に対して下落しました。同国では強権的な大統領の下で中央銀行は独特の金融政策を実施しています。当作成期間中に、公式統計によるインフレは低下傾向で推移して作成期末には年率50%付近まで低下する中、中央銀行は政策金利を年率50%で据え置きました。しかしながら、民間調査によるインフレ率は年率80%台で推移していることから、実態としての実質金利はマイナスになっていることを受けて、トルコリラは対円で軟調に推移しました。

**(南アフリカランド)**

当作成期の南アフリカランドは円に対して上昇しました。引き続き電力不足ではあるものの計画停電は回避されていることから、サービス業や製造業で生産拡大の動きがみられ緩やかなプラスの経済成長となっています。さらに、東欧や中東における地政学的リスクの高まりや米国大統領選挙を巡る先行き不透明感などを受けて金価格が上昇したことなどから、産金国通貨である南アフリカランドは円に対して上昇しました。

**(豪ドル)**

当作成期の豪ドルは円に対して下落しました。RBAは根強いインフレ長期化懸念を背景に忍耐強く政策金利を4.35%で据え置きました。7月から8月上旬にかけて米国における利下げ期待と日本における利上げ期待により米ドルが対円で売られる中、他の先進国と比較してオーストラリアでは高水準の政策金利を今後も維持するとの期待から、豪ドルは対円で小幅な下落にとどまりました。

## ■ 当該投資信託のポートフォリオ

### 高金利国際機関債ファンド（毎月決算型）

作成期首の運用方針に基づき、新興国通貨建国際機関債マザーファンドおよび豪ドル債マザーファンドを通じて、世界の国際機関債等へ投資することにより、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行いました。両マザーファンドの投資比率合計を高位に維持しました。

当作成期を通じて新興国通貨建国際機関債マザーファンドは概ね80%程度、豪ドル債マザーファンドは概ね20%程度組み入れました。

### 【信託財産の状況】

	作成期首	作成期末
外国債券	93.5%	92.4%
経過利息、現金等その他	6.5%	7.6%
組入銘柄数	14	16
デュレーション	1.8年	2.1年
残存年数	2.1年	2.3年
複利利回り	13.5%	14.1%
格付		
A a a	100.0%	100.0%

※外国債券、経過利息、現金等その他の組入比率についてはマザーファンドへの投資を通じた数値

※格付については組入債券の評価額合計に対する比率でムーディーズ・インベスターズ・サービスによる格付を採用

※デュレーション：投資元本の平均回収期間のことで、債券価格の金利変動に対する感応度をあらわします。デュレーションが長い(大きい)ほど金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。金利が低下した場合、デュレーションが長いほど債券価格は大きく上昇します。一方、金利が上昇した場合、デュレーションが長いほど債券価格は大きく下落します。

### 新興国通貨建国際機関債マザーファンド

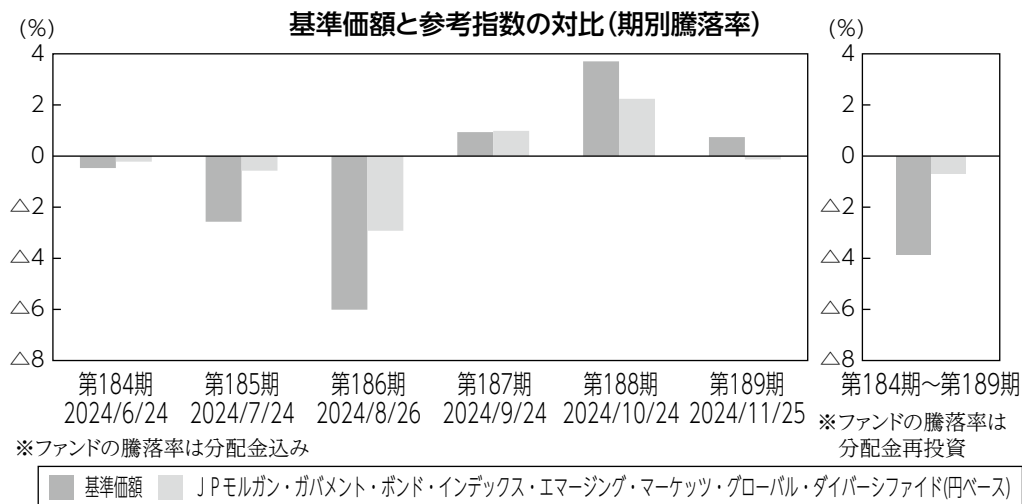
作成期首の運用方針に基づき、主として新興国通貨建（ブラジルレアル、メキシコペソ、トルコリラ、南アフリカランド）で取得時においてA a a格相当の格付けを取得している国際機関債等へ分散投資することにより、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行いました。流動性などを勘案し銘柄を絞り込み、経済動向、金利水準を分析し、これら4通貨が均等になるように国際機関債を組み入れたポートフォリオを構築しました。有価証券の組入比率は高位を維持し、デュレーションについては作成期首2.0年でしたが、作成期末には1.9年としました。

### 豪ドル債マザーファンド

作成期首の運用方針に基づき、取得時においてA a a格相当の格付けを取得している豪ドル建国際機関債に分散投資し、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指し運用を行いました。有価証券の組入比率は高位を維持し、デュレーションについては作成期首1.4年でしたが、作成期末には2.9年としました。



## ■ 当該投資信託のベンチマークとの差異



当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

上記グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。当作成期の基準価額（分配金再投資ベース）の騰落率は△3.9%となり、参考指数の騰落率は△0.7%となりました。



## ■ 分配金

当ファンドの収益分配金は分配対象額の水準、基準価額水準等を勘案して1万口当たり次表の通りとさせていただきます。収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

### 分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

項目	第184期	第185期	第186期	第187期	第188期	第189期
	2024年5月25日～ 2024年6月24日	2024年6月25日～ 2024年7月24日	2024年7月25日～ 2024年8月26日	2024年8月27日～ 2024年9月24日	2024年9月25日～ 2024年10月24日	2024年10月25日～ 2024年11月25日
当期分配金	10	10	10	10	10	10
(対基準価額比率)	0.214	0.220	0.234	0.233	0.225	0.224
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	638	670	702	728	760	792

(注1)対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### 高金利国際機関債ファンド (毎月決算型)

引き続き、新興国通貨建国際機関債マザーファンド、豪ドル債マザーファンドを通じて世界の国際機関債等に投資し、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行う方針です。両マザーファンドへの投資比率合計を高位に保つ方針です。

### 新興国通貨建国際機関債マザーファンド

引き続き、経済動向、金利水準を分析し、有価証券の組入比率を高位に維持しつつ、国際機関債により4通貨が均等になるよう運用を継続します。当面デュレーションは作成期末現在の水準程度とします。

### 豪ドル債マザーファンド

引き続き、経済動向、金利水準を分析し、有価証券の組入比率は高位を維持しつつ、アジア開発銀行、国際復興開発銀行、米州開発銀行などの国際機関債中心の運用を継続します。当面デュレーションは作成期末現在の水準程度とします。

## ◎1万口当たりの費用明細

項目	第184期～第189期		項目の概要
	2024年5月25日～2024年11月25日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	27円	0.613%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×作成期末の信託報酬率 ※作成期間の平均基準価額は4,456円です。
(投信会社)	(12)	(0.279)	ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類の作成等の対価
(販売会社)	(14)	(0.307)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.028)	ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.019	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合計	28	0.632	

(注1) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

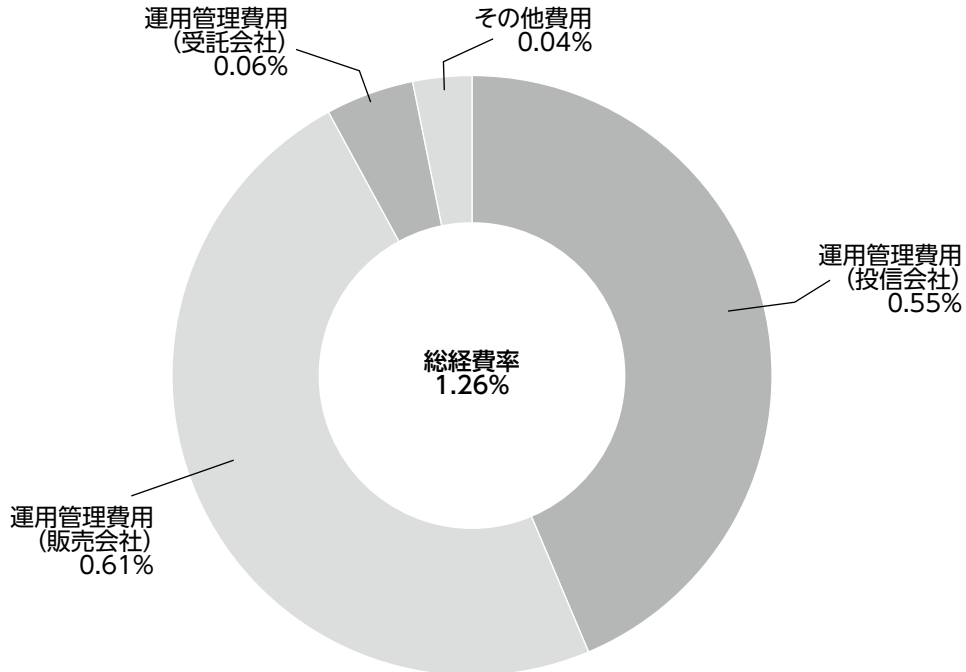
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報) 総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.26%です。



(注)費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注)各比率は、年率換算した値です。

(注)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ◎売買及び取引の状況(2024年5月25日～2024年11月25日)

○親投資信託の設定、解約状況

	第 184 期 ～ 第 189 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
新興国通貨建国際機関債マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 24,664	千円 50,000
豪ドル債マザーファンド	—	—	5,195	15,000

(注)単位未満は切り捨て。

## ◎利害関係人との取引状況等(2024年5月25日～2024年11月25日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注)利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ◎組入資産明細表

○親投資信託残高

種 類	第31作成期末	第 32 作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
新興国通貨建国際機関債マザーファンド	千口 348,717	千口 324,053	千円 659,318
豪ドル債マザーファンド	63,369	58,173	166,179

(注1)口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注2)新興国通貨建国際機関債マザーファンド全体の当作成期末受益権口数は(324,053千口)です。

(注3)豪ドル債マザーファンド全体の当作成期末受益権口数は(58,173千口)です。

## ◎投資信託財産の構成

2024年11月25日現在

項 目	第 32 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
新興国通貨建国際機関債マザーファンド	659,318	77.0
豪ドル債マザーファンド	166,179	19.4
コール・ローン等、その他	30,614	3.6
投資信託財産総額	856,111	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 新興国通貨建国際機関債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(656,122千円)の投資信託財産総額(659,308千円)に対する比率は99.5%です。

(注3) 豪ドル債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(163,000千円)の投資信託財産総額(166,178千円)に対する比率は98.1%です。

(注4) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=154.25円、1メキシコペソ=7.585円、1ブラジルレアル=26.5529円、1トルコリラ=4.4719円、1オーストラリアドル=100.99円、1南アフリカランド=8.56円です。

## ◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2024年6月24日現在 2024年7月24日現在 2024年8月26日現在 2024年9月24日現在 2024年10月24日現在 2024年11月25日現在

項 目	第184期末	第185期末	第186期末	第187期末	第188期末	第189期末
(A) 資 産	943,993,553円	902,051,347円	838,926,203円	842,300,061円	863,633,485円	856,111,595円
コール・ローン等	35,613,745	36,126,218	31,142,297	30,828,870	30,512,219	30,613,797
新興国通貨建国際機関債マザーファンド(評価額)	730,528,793	692,793,540	646,677,383	648,712,534	666,592,950	659,318,524
豪ドル債マザーファンド(評価額)	177,851,006	173,131,580	161,106,430	162,758,565	166,528,225	166,179,182
未 収 利 息	9	9	93	92	91	92
(B) 負 債	4,199,891	4,229,703	2,905,559	3,526,448	3,815,563	3,100,742
未 払 収 益 分 配 金	2,011,270	1,976,147	1,962,671	1,955,117	1,937,156	1,911,556
未 払 解 約 金	1,222,607	1,317,994	50	772,248	1,027,939	277,398
未 払 信 託 報 酬	961,651	931,339	938,584	795,476	846,631	907,674
そ の 他 未 払 費 用	4,363	4,223	4,254	3,607	3,837	4,114
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	939,793,662	897,821,644	836,020,644	838,773,613	859,817,922	853,010,853
元 本	2,011,270,582	1,976,147,822	1,962,671,206	1,955,117,707	1,937,156,664	1,911,556,539
次 期 繰 越 損 益 金	△1,071,476,920	△1,078,326,178	△1,126,650,562	△1,116,344,094	△1,077,338,742	△1,058,545,686
(D) 受 益 権 総 口 数	2,011,270,582口	1,976,147,822口	1,962,671,206口	1,955,117,707口	1,937,156,664口	1,911,556,539口
1万口当たり基準価額(C/D)	4.673円	4.543円	4.260円	4.290円	4.439円	4.462円

(注1) 当ファンドの第184期元本額は2,030,934,502円、第184～189期中追加設定元本額は15,522,000円、第184～189期中一部解約元本額は134,899,963円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第184期0.4673円、第185期0.4543円、第186期0.4260円、第187期0.4290円、第188期0.4439円、第189期0.4462円です。

(注3) 純資産総額が元本額を下回っており、その額は第184期1,071,476,920円、第185期1,078,326,178円、第186期1,126,650,562円、第187期1,116,344,094円、第188期1,077,338,742円、第189期1,058,545,686円です。

## ◎損益の状況

項 目	〔自 2024年5月25日 至 2024年6月24日〕	〔自 2024年6月25日 至 2024年7月24日〕	〔自 2024年7月25日 至 2024年8月26日〕	〔自 2024年8月27日 至 2024年9月24日〕	〔自 2024年9月25日 至 2024年10月24日〕	〔自 2024年10月25日 至 2024年11月25日〕
	第184期	第185期	第186期	第187期	第188期	第189期
(A) 配 当 等 収 益	243円	202円	2,461円	2,384円	2,194円	1,941円
受 取 利 息	243	202	2,461	2,384	2,194	1,941
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 3,621,808	△ 22,669,740	△ 52,743,382	8,725,621	31,498,588	7,375,686
売 買 益	4,751,317	15,396	393,126	8,757,341	31,650,063	7,747,163
売 買 損	△ 8,373,125	△ 22,685,136	△ 53,136,508	△ 31,720	△ 151,475	△ 371,477
(C) 信 託 報 酬 等	△ 966,014	△ 935,562	△ 942,838	△ 799,083	△ 850,468	△ 911,788
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△ 4,587,579	△ 23,605,100	△ 53,683,759	7,928,922	30,650,314	6,465,839
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 500,174,418	△ 496,911,237	△ 518,257,619	△ 571,176,736	△ 558,912,593	△ 522,815,341
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 564,703,653	△ 555,833,694	△ 552,746,513	△ 551,141,163	△ 547,139,307	△ 540,284,628
(配 当 等 相 当 額)	( 19,128,264)	( 19,016,934)	( 19,046,715)	( 19,086,413)	( 19,153,265)	( 19,002,091)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 583,831,917)	(△ 574,850,628)	(△ 571,793,228)	(△ 570,227,576)	(△ 566,292,572)	(△ 559,286,719)
(G) 計 (D+E+F)	△1,069,465,650	△1,076,350,031	△1,124,687,891	△1,114,388,977	△1,075,401,586	△1,056,634,130
(H) 収 益 分 配 金	△ 2,011,270	△ 1,976,147	△ 1,962,671	△ 1,955,117	△ 1,937,156	△ 1,911,556
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△1,071,476,920	△1,078,326,178	△1,126,650,562	△1,116,344,094	△1,077,338,742	△1,058,545,686
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 564,703,653	△ 555,833,694	△ 552,746,513	△ 551,141,163	△ 547,139,307	△ 540,284,628
(配 当 等 相 当 額)	( 19,132,668)	( 19,030,533)	( 19,052,402)	( 19,089,086)	( 19,164,251)	( 19,005,092)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 583,836,321)	(△ 574,864,227)	(△ 571,798,915)	(△ 570,230,249)	(△ 566,303,558)	(△ 559,289,720)
分 配 準 備 積 立 金	109,337,533	113,534,117	118,773,751	123,333,829	128,149,665	132,469,498
繰 越 損 益 金	△ 616,110,800	△ 636,026,601	△ 692,677,800	△ 688,536,760	△ 658,349,100	△ 650,730,556

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 第184期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(8,821,383円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(19,132,668円)および分配準備積立金(102,527,420円)より分配対象収益は130,481,471円(10,000口当たり648円)であり、うち2,011,270円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第185期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(8,300,486円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(19,030,533円)および分配準備積立金(107,209,778円)より分配対象収益は134,540,797円(10,000口当たり680円)であり、うち1,976,147円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第186期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(8,122,508円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(19,052,402円)および分配準備積立金(112,613,914円)より分配対象収益は139,788,824円(10,000口当たり712円)であり、うち1,962,671円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第187期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(7,079,635円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(19,089,086円)および分配準備積立金(118,209,311円)より分配対象収益は144,378,032円(10,000口当たり738円)であり、うち1,955,117円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第188期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(8,125,617円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(19,164,251円)および分配準備積立金(121,961,204円)より分配対象収益は149,251,072円(10,000口当たり770円)であり、うち1,937,156円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第189期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(8,016,133円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(19,005,092円)および分配準備積立金(126,364,921円)より分配対象収益は153,386,146円(10,000口当たり802円)であり、うち1,911,556円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

## ◎収益分配金のお知らせ

決 算 期	第184期	第185期	第186期	第187期	第188期	第189期
1万口当たりの分配金(税込み)	10円	10円	10円	10円	10円	10円

## ※分配金をお支払いする場合

分配金は、各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

## ※分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいてみなさまの口座に繰入れて再投資いたしました。

## 課税上の取扱いについて

- 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、普通分配金と元本払戻金（特別分配金）に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。また、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- 課税上の取扱いの詳細については、税務署等にお問い合わせください。



# 新興国通貨建国際機関債マザーファンド

## 運用報告書

第16期

(決算日 2024年11月25日)

「新興国通貨建国際機関債マザーファンド」は、2024年11月25日に第16期決算を行いました。  
以下、当マザーファンドの第16期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	相対的に金利の高い新興国通貨建で信用力の高い国際機関債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

## ◎最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数	債組比	券入率	純資産額
	円	騰落率				
(第12期) 2020年11月24日	13,972	△11.8	272.97	△ 1.7	96.2	百万円 1,134
(第13期) 2021年11月24日	13,949	△ 0.2	280.16	2.6	92.7	904
(第14期) 2022年11月24日	17,461	25.2	295.94	5.6	95.8	858
(第15期) 2023年11月24日	19,460	11.4	356.02	20.3	97.5	771
(第16期) 2024年11月25日	20,346	4.6	377.77	6.1	95.1	659

(注1)当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしまして J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)を記載しております。

(注2) J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド)は J . P . M o r g a n S e c u r i t i e s L L C ( J P モルガン) が公表している、エマージング諸国の国債を中心とした債券市場の合成パフォーマンスを表す指数として広く認知されているものであり、J P モルガンの知的財産です。J P モルガンは当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)については基準価額との関連を考慮して前日の指数を採用しております。

## ◎当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数	債組比	券入率
	円	騰落率			
(期首) 2023年11月24日	19,460	—	356.02	—	97.5
11月末	19,192	△1.4	355.58	△0.1	97.7
12月末	19,028	△2.2	348.17	△2.2	97.5
2024年 1月末	19,376	△0.4	357.10	0.3	97.6
2月末	19,610	0.8	363.42	2.1	97.3
3月末	19,796	1.7	365.56	2.7	97.7
4月末	20,530	5.5	371.89	4.5	97.5
5月末	21,070	8.3	376.67	5.8	97.3
6月末	20,889	7.3	380.39	6.8	96.8
7月末	19,834	1.9	373.38	4.9	96.1
8月末	18,876	△3.0	364.09	2.3	96.3
9月末	19,304	△0.8	370.68	4.1	96.5
10月末	20,177	3.7	378.27	6.2	95.6
(期末) 2024年11月25日	20,346	4.6	377.77	6.1	95.1

(注1)騰落率は期首比です。

(注2)当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしまして J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)を記載しております。

## ◎当期中の運用経過と今後の運用方針(2023年11月25日～2024年11月25日)

## 1 基準価額

## 基準価額の推移と主な変動要因



※参考指数は期首の基準価額に合わせて指数化しております。

基準価額は期首19,460円で始まり期末20,346円で終わりました。騰落率は+4.6%でした。

基準価額の主な変動要因は以下の通りです。

## (上昇要因)

- ・組入債券の利息が積み上がったこと
- ・東欧や中東における地政学的リスクの高まりや米国大統領選挙を巡る先行き不透明感などを受けて金価格が上昇する中、2024年7月上旬にかけて産金国通貨である南アフリカランドが円に対して上昇したこと

## (下落要因)

- ・当季后半に11月に控えた米国大統領選挙において主要候補の支持率が最後まで拮抗したことから共和党候補が掲げる関税引き上げなどへの懸念が強まり、メキシコペソが円に対して下落するなど、南アフリカランドを除く組入通貨が円に対して下落したこと

## 2 運用経過

## 運用概況

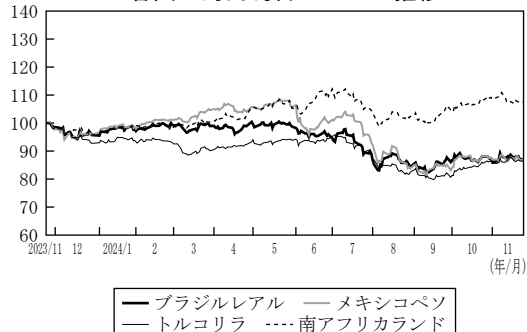
期首の運用方針に基づき、主として新興国通貨建(ブラジルレアル、メキシコペソ、トルコリラ、南アフリカランド)で取得時においてA a a相当格の格付を取得している国際機関債等へ分散投資することにより、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行いました。流動性などを勘案し銘柄を絞り込み、経済動向、金利水準を分析し、これら4通貨が均等になるように、国際復興開発銀行、欧州投資銀行、欧州復興開発銀行などの国際機関債を組み入れたポートフォリオを構築しました。

## 【信託財産の状況】

	期首	期末
外国債券	97.5%	95.1%
経過利息、現金等その他	2.5%	4.9%
組入銘柄数	10	12
デュレーション	1.6年	1.9年
残存年数	1.7年	2.1年
複利回り	14.1%	16.5%
格付		
A a a	100.0%	100.0%

※上記の格付については組入債券の評価額合計に対する比率でムーディーズ・インベスターズサービスによる格付を採用

## 各国の対円為替レートの推移



※各国の対円為替レート(対顧客電信売買相場の仲値等)は期首を100として指数化したものです。

### 3 今後の運用方針

引き続き、経済動向、金利水準を分析し、有価証券の組入比率は高位を維持しつつ、国債機関債により4通貨が均等になるよう運用を継続します。当面デュレーションは期末現在の水準程度とします。

## ◎1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2023年11月25日～2024年11月25日		
	金額	比率	
(a) その他費用	6円	0.031%	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ※期中の平均基準価額は19,806円です。
(保管費用)	(6)	(0.030)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合計	6	0.031	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ◎売買及び取引の状況(2023年11月25日～2024年11月25日)

## ○公社債

			買付額	売付額
外	メキシコ	特殊債券	千メキシコペソ 2,764	千メキシコペソ 7,526
	ブラジル	特殊債券	千ブラジルリアル 1,208	千ブラジルリアル 1,657
	トルコ	特殊債券	千トルコリラ 25,938	千トルコリラ 33,162
国	南アフリカ	特殊債券	千南アフリカランド 5,509	千南アフリカランド 9,777

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

## ◎利害関係人との取引状況等(2023年11月25日～2024年11月25日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注)利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ◎組入資産明細表

○外国(外貨建)公社債(通貨別)

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年以上	2年以上	2年未満
メ キ シ コ	千メキシコペソ 25,500	千メキシコペソ 20,738	千円 157,303	% 23.9	% —	% —	% 23.9	% —
ブ ラ ジ ル	千ブラジルリアル 6,200	千ブラジルリアル 5,689	151,070	22.9	—	—	4.8	18.1
ト ル コ	千トルコリラ 52,000	千トルコリラ 35,811	160,143	24.3	—	—	19.2	5.1
南 ア フ リ カ	千南アフリカランド 20,330	千南アフリカランド 18,484	158,231	24.0	—	—	12.9	11.1
合 計	—	—	626,747	95.1	—	—	60.8	34.3

(注1)邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3)単位未満は切り捨て。

(注4)－印は組み入れなし。

(注5)評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## ○外国(外貨建)公社債(銘柄別)

銘柄名	種類	利率	期		末		償還年月日
			額面金額	評価額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
(メキシコ)		%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円		
INT BK RECON&DEV 0%	特殊債券 (除く金融債)	—	22,500	17,991	136,461	2027/ 3/13	
INT BK RECON&DEV 7.07%		7.07	3,000	2,747	20,841	2029/ 6/26	
小計					157,303		
(ブラジル)			千ブラジルレアル	千ブラジルレアル			
EUROPEAN INVT BK 0%	特殊債券 (除く金融債)	—	1,000	944	25,076	2025/ 6/12	
INT BK RECON&DEV 5%		5.0	3,800	3,549	94,261	2026/ 1/22	
INT BK RECON&DEV 5.75%		5.75	1,400	1,195	31,731	2028/ 1/14	
小計					151,070		
(トルコ)			千トルコリラ	千トルコリラ			
COUNCIL OF EUROP 28%	特殊債券 (除く金融債)	28.0	21,000	18,412	82,340	2027/ 3/22	
EURO BK RECON&DV 0%		—	11,000	7,545	33,744	2026/ 1/26	
EURO BK RECON&DV 0%		—	20,000	9,852	44,058	2027/ 4/12	
小計					160,143		
(南アフリカ)			千南アフリカランド	千南アフリカランド			
EUROPEAN INVT BK 8.75%	特殊債券 (除く金融債)	8.75	8,530	8,538	73,089	2025/ 8/18	
INT BK RECON&DEV 0%		—	7,000	5,096	43,621	2028/12/29	
INT BK RECON&DEV 8.25%		8.25	4,000	4,044	34,616	2026/12/21	
INTL FIN CORP 8.25%		8.25	800	806	6,902	2029/ 4/ 2	
小計					158,231		
合計					626,747		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注3) 銘柄名にある「INT BK RECON&DEV」は「国際復興開発銀行」・「EUROPEAN INVT BK」は「欧州投資銀行」・「COUNCIL OF EUROP」は「欧州評議会開発銀行」・「EURO BK RECON&DV」は「欧州復興開発銀行」・「INTL FIN CORP」は「国際金融公社」です。



## ◎投資信託財産の構成

2024年11月25日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	626,747	95.1
コール・ローン等、その他	32,561	4.9
投資信託財産総額	659,308	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(656,122千円)の投資信託財産総額(659,308千円)に対する比率は99.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=154.25円、1メキシコペソ=7.585円、1ブラジルレアル=26.5529円、1トルコリラ=4.4719円、1南アフリカランド=8.56円です。

## ◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2024年11月25日現在

項 目	当 期 末
	円
(A) 資 産	659,308,194
コール・ローン等	△ 11,840,153
公 社 債(評価額)	626,747,779
未 収 入 金	15,029,162
未 収 利 息	24,987,982
前 払 費 用	4,383,424
(B) 純 資 産 総 額(A)	659,308,194
元 本	324,053,143
次 期 繰 越 損 益 金	335,255,051
(C) 受 益 権 総 口 数	324,053,143口
1万口当たり基準価額(B/C)	20,346円

(注1) 当親ファンドの期首元本額は396,609,226円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は72,556,083円です。

(注2) 当親ファンドの当期末元本の内訳は、高金利国際機関債ファンド(毎月決算型)324,053,143円です。

(注3) 1口当たり純資産額は2.0346円です。

(注4) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注5) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注6) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ◎損益の状況

自 2023年11月25日  
至 2024年11月25日

項 目	当 期
	円
(A) 配 当 等 収 益	99,276,472
受 取 利 息	99,278,656
支 払 利 息	△ 2,184
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 66,541,953
売 買 益	23,511,379
売 買 損	△ 90,053,332
(C) 信 託 報 酬 等	△ 222,240
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	32,512,279
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	375,186,689
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 72,443,917
(G) 計 (D+E+F)	335,255,051
次 期 繰 越 損 益 金(G)	335,255,051

# 豪ドル債マザーファンド

## 運用報告書

第16期

(決算日 2024年11月25日)

「豪ドル債マザーファンド」は、2024年11月25日に第16期決算を行いました。

以下、当マザーファンドの第16期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	豪ドル建国際機関債、ソブリン債（国債、政府機関債等）および豪ドル建地方債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

## ◎最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		債組比	券入率	純資産額
	円	騰落率 %		騰落率 %			
(第12期) 2020年11月24日	21,242	6.2	344.99	6.7	97.3	%	百万円 282
(第13期) 2021年11月24日	22,736	7.0	357.24	3.6	97.6	%	239
(第14期) 2022年11月24日	24,853	9.3	365.78	2.4	97.6	%	214
(第15期) 2023年11月24日	26,788	7.8	376.54	2.9	97.1	%	194
(第16期) 2024年11月25日	28,566	6.6	403.73	7.2	96.9	%	166

(注1)当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしましてFTSE世界国債インデックス(オーストラリア 国内投信用、円ベース)を記載しております。

(注2)FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

## ◎当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		債組比	券入率
	円	騰落率 %		騰落率 %		
(期首)2023年11月24日	26,788	—	376.54	—	97.1	%
11月末	26,618	△ 0.6	376.99	0.1	97.0	%
12月末	26,653	△ 0.5	387.70	3.0	96.7	%
2024年 1月末	26,787	△ 0.0	383.99	2.0	96.4	%
2月末	27,082	1.1	387.60	2.9	96.6	%
3月末	27,407	2.3	396.55	5.3	96.3	%
4月末	28,551	6.6	402.23	6.8	96.1	%
5月末	28,958	8.1	408.89	8.6	96.2	%
6月末	29,770	11.1	422.31	12.2	98.2	%
7月末	27,990	4.5	397.98	5.7	97.8	%
8月末	27,973	4.4	403.22	7.1	97.7	%
9月末	28,179	5.2	405.31	7.6	97.4	%
10月末	28,492	6.4	403.68	7.2	97.2	%
(期末)2024年11月25日	28,566	6.6	403.73	7.2	96.9	%

(注1)騰落率は期首比です。

(注2)当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしましてFTSE世界国債インデックス(オーストラリア 国内投信用、円ベース)を記載しております。

## ◎当期中の運用経過と今後の運用方針(2023年11月25日～2024年11月25日)

## 1 基準価額

## 基準価額の推移と主な変動要因



※参考指数は期首の基準価額に合わせて指数化しております。

基準価額は期首26,788円で始まり期末28,566円で終わりました。騰落率は+6.6%でした。

基準価額の主な変動要因は以下の通りです。

## (上昇要因)

- ・組入債券の利息が積み上がったこと
- ・オーストラリアにおいて、根強いインフレ長期化懸念を背景に中央銀行が政策金利を4.35%で据え置きとしたことを受けて、利下げを開始した他の先進国と比較して高水準の政策金利を今後も維持するとの期待の強まりから、豪ドルが円に対して上昇したこと

## 2 運用経過

## 運用概況

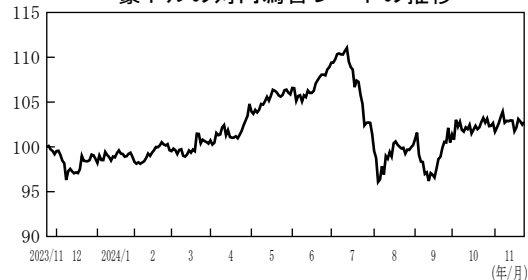
期首の運用方針に基づき、取得時においてA a a相当格の格付を取得している豪ドル建国際機関債に分散投資し信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指し運用を行いました。当期においては、アジア開発銀行、国際復興開発銀行、米州開発銀行などの国際機関債を組み入れたポートフォリオを構築しました。

## 【信託財産の状況】

	期首	期末
外国債券	97.1%	96.9%
経過利息、現金等その他	2.9%	3.1%
組入銘柄数	4	4
デュレーション	1.1年	2.9年
残存年数	1.2年	3.1年
複利利回り	4.8%	4.5%
格付		
A a a	100.0%	100.0%

※上記の格付については組入債券の評価額合計に対する比率でムーディーズ・インベスターズサービスによる格付を採用

## 豪ドルの対円為替レートの推移



※上記通貨の対円為替レート(対顧客電信売買相場の仲値)は期首を100として指数化したものです。

### 3 今後の運用方針

引き続き、経済動向、金利水準を分析し、有価証券の組入比率は高位を維持しつつ、国際復興開発銀行、アジア開発銀行、米州開発銀行などの国際機関債中心の運用を継続します。当面デュレーションは期末現在の水準程度とします。

## ◎1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2023年11月25日～2024年11月25日		
	金額	比率	
(a) その他費用	14円	0.051%	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ※期中の平均基準価額は27,871円です。
(保管費用)	(13)	(0.048)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(1)	(0.003)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合計	14	0.051	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ◎売買及び取引の状況(2023年11月25日～2024年11月25日)

## ○公社債

			買付額	売付額
外国	オーストラリア	特殊債券	千オーストラリアドル 1,415	千オーストラリアドル 1,746

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

## ◎利害関係人との取引状況等(2023年11月25日～2024年11月25日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ◎組入資産明細表

## ○外国(外貨建)公社債(通貨別)

区 分	当 期				末			
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年以上	2年以上	2年未満
オーストラリア	千オーストラリアドル 1,640	千オーストラリアドル 1,595	千円 161,080	% 96.9	% —	% —	% 85.6	% 11.4
合 計	1,640	1,595	161,080	96.9	—	—	85.6	11.4

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) ー印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## ○外国(外貨建)公社債(銘柄別)

銘 柄 名	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
				末		
(オーストラリア)		%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	
ASIAN DEV BANK 3.4%	特殊債券 (除く金融債)	3.4	650	633	63,963	2027/ 9/10
INT BK RECON&DEV 2.9%		2.9	190	187	18,895	2025/11/26
INT BK RECON&DEV 4.4%		4.4	370	369	37,291	2028/ 1/13
INTERAMER DEV BK 3.15%		3.15	430	405	40,930	2029/ 6/26
合 計					161,080	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注3) 銘柄名にある「ASIAN DEV BANK」は「アジア開発銀行」・「INT BK RECON&DEV」は「国際復興開発銀行」・「INTERAMER DEV BK」は「米州開発銀行」です。



## ◎投資信託財産の構成

2024年11月25日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	161,080	96.9
コール・ローン等、その他	5,098	3.1
投資信託財産総額	166,178	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(163,000千円)の投資信託財産総額(166,178千円)に対する比率は98.1%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1オーストラリアドル=100.99円です。

## ◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2024年11月25日現在

項 目	当 期 末
	円
(A) 資 産	166,178,366
コール・ローン等	3,178,200
公社債(評価額)	161,080,577
未 収 利 息	1,919,589
(B) 純 資 産 総 額(A)	166,178,366
元 本	58,173,767
次 期 繰 越 損 益 金	108,004,599
(C) 受 益 権 総 口 数	58,173,767口
1万口当たり基準価額(B/C)	28,566円

## ◎損益の状況

自 2023年11月25日  
至 2024年11月25日

項 目	当 期
	円
(A) 配 当 等 収 益	6,662,072
受 取 利 息	6,663,164
支 払 利 息	△ 1,092
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	5,290,152
売 買 益	7,774,928
売 買 損	△ 2,484,776
(C) 信 託 報 酬 等	△ 91,028
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	11,861,196
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	121,778,736
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 25,635,333
(G) 計 (D+E+F)	108,004,599
次 期 繰 越 損 益 金(G)	108,004,599

(注1) 当親ファンドの期首元本額は72,538,434円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は14,364,667円です。

(注2) 当親ファンドの当期末元本の内訳は、高金利国際機関債ファンド(毎月決算型)58,173,767円です。

(注3) 1口当たり純資産額は2.8566円です。

(注4) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注5) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注6) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。